

コロナ禍での 健診センターの対応について



健診センター
多田 則義

新型コロナウイルス感染症に
対しワクチン接種が始まる一方
で、感染力が強い変異ウイルス
の出現が問題になるなど、コロ
ナウイルスに関する話題は尽き
ません。そんな中で、健診セン
ターが現在行っている対応を紹
介します。

原則として昨年5月に日本総
合健診医学会や日本人間ドック
学会などが共同で出した「健康
診断実施時における新型コロナ
ウイルス感染症対策について」
に基づいて行動しております。

良好な受診環境の 確保のために

新型コロナウイルス感染症対
策としていわゆる「3密」(密閉・
密集・密接)を避ける事が基本
になります。3つの密のそれぞ
れを可能な限り回避すること
により、良好な受診環境の確保に
努めています。

病院正面玄関での体温測定は
もちろん、マスク着用は原則と



して行い(マスクの感染予防効
果を最大限に発揮するため)、
正しい着用をお願いします)、健
診受付時の問診確認で受診者の
健康状態を把握して、発熱があ
るなど健診受診者として不適当
と判断した場合は、受診者に説
明した上で、後日体調が回復し
てからの受診とします。コロナ
ウイルスに感染していても自覚
症状がない方もおりますが、疑
われる症状がある方は、他の方
に感染を広げないためにもご協
力をお願い致します。



「密集・密接」を避けるため、
受診者間の距離を確保するとこ
もに、健診に要する時間を可能
な限り短縮し、また受診者と職
員が対面で話す際は適切な距離
を確保しています。更に室内の
換気をこまめに行い、職員の手
指や、受診者が触れる可能性の

健診を受けましょう

ある場所はアルコール等での消
毒を行っています。もちろん計
測機器や医療機器についても消
毒を十分に行っております。
健診施設職員が感染源になら
ないための配慮もしており、日々
の体調管理やマスク着用、手洗
い又はアルコール消毒液等によ
る手指消毒の徹底、感染が疑わ
れる場合は自宅待機とするなど、
感染しない・感染させない対策
を何重にも立てております。

昨年の春先は、未知のウイル
ス対策として不要不急の外出は
避けるべきとの通達があり、健
診はある程度騒動が収まるまで
受診を控えました。と言われた
時期がありました。でも考えて
みると、自身の健康状態を把握
して、最善の体調を維持するの
には健診はとても重要であるこ
とが分かります。コロナが怖い
から健診を受けないではなく、
コロナ対策がしっかりしている
から健診を受けてみようと思え
てほしいです。
受診者の「密集」を避けるた
めに1日の予約者数や予約時間
等を調整する場合があります、必ず
しもご希望の時間帯での受診が
出来ないこともあるかもしれませ
んが、その際はご了承願います。

ほほえみだより

介護老人保健施設
ほほえみの里きと

ご利用者さまに合わせた リハビリ&レク!



通所リハビリテーションでは現在一日型と半日型の利用
方法があり、ご利用者さまに合わせた方をお選び頂いてい
ます。午前中は入浴やリハビリに参加し、午後はレクリエー
ションを楽しんでいます。

先日はハーバリウム作りをしました。事前に参加希望をと
り、制作しました。参加されたご利用者さまは楽しそうに作
られており、完成されたハーバリウムを嬉しそうに見せてく
れました。コロナ禍で外出レクが出来なくなりましたが、施
設内で楽しんで利用していただけるようにしています。



色とりどりのハーバリウム どれもキレイにできたね!

木戸病院での 分娩取り扱い終了のお知らせ

木戸病院は1986年に産科を開設して以来、長き
にわたって分娩を取り扱ってまいりましたが、この
度諸般の事情により、2021年7月末日をもって、分
娩の取り扱いを終了とさせて頂くことになりました。

産科開設より35年が経過する中で、当院におい
て数多くの「命」が誕生致しました。これまで地域
の皆様から多くのご支援を賜りましたことにつつま
して、心より感謝を申し上げます。

誠に残念ではございますが、今後は出産後の小
児のお子さん、ご両親の健康管理を総合的に行う病
院として地域医療に貢献したいと思っております。



2021年 8月

木戸病院長
佐藤 秀一